

令和7年度後期公開講義 公開科目一覧

【対面方式】 ☆試験レポート欄 「－」:要相談、「○」:受験・提出可、「×」:受験・提出不可、該当なし

区分	番号	科目名	担当教員	曜日	講時	条件・その他	試験	レポート	定員
人間学他	1	電子社会と人間	柳澤 淳一	月	2	講義内容に興味があれば、特に必要な前提知識はありません。	○	○	5
	2	生命・人間・倫理	糸島 陽子	月	2	特になし	×	×	5
	3	ジェンダー平等をつくる	河 かおる	月	2	特になし	×	○	若干
	4	自然のしくみA	荒木 希和子	月	3	特になし	×	○	10
	5	Essay Writing	John Rippey	水	4	特になし	○	○	制限なし
環境科学部	6	動物生態学	高倉 耕一	月	2	レポートはTeamsで回答・提出してもらっていることから「否」とさせてもらっています。	○	×	若干
	7	集水域生態系保全修復論	浦部 美佐子	月	4	特になし	×	×	制限なし
	8	農業と環境B	入江 俊一	月	4	特になし	×	×	3
	9	環境毒性学	丸尾 雅啓	火	1	高等学校「化学基礎」または「化学Ⅰ」を履修済であることが望ましい。	○	○	5
	10	地球環境システム論	上河原 献二	水	1	特になし	×	×	若干
	11	環境リスク解析法	肥田 嘉文	水	2	特になし	○	○	若干
	12	建築数学・物理	高田 豊文	木	2	高校卒業程度の数学・物理（力学）の知識があること	○	○	5
	13	動物資源管理学	中川 敏法	金	1	特になし	○	○	若干
	14	環境生物学Ⅰ	浦部 美佐子	金	3	高校生物あるいは化学を履修済みであることが望ましい。	×	×	制限なし
	15	地域情報処理学	岩間 憲治	金	4	三角関数が理解できていること。	○	○	10
工学部	16	分子生物学	入江 俊一	金	5	特になし	×	×	3
	17	物性デバイス基礎論	一宮 正義	月	2	大学初年級の電磁気学を理解していることが望ましい。	○	○	5
	18	生化学Ⅰ	竹原 宗範	火	1	高校の「化学」を理解していること	○	○	若干
	19	電子回路Ⅰ	土谷 亮	火	1	電気回路の基礎的な知識があることが望ましい。	×	×	制限なし
	20	基礎電磁気学	小林 成貴	火	2	高校で習う物理（特に力学・電磁気学）を理解していること	×	×	3
	21	ディジタル信号処理	宮城 茂幸	火	2	大学の教養数学を理解していることが望ましい。	×	×	若干
	22	大学院科目・構造・化学機能セラミックス	松岡 純	水	1	材料化学科2年次までの必修専門科目と3年次の「セラミックス材料」を履修したのと同等の学力を前提として授業を行う。（注：同じ曜日の第2限に別科目を担当しているため、授業直後に質問等を受け付けることは困難である。）	×	×	若干
	23	反応速度論	徳満 勝久	水	1	高校数学と物理、化学の基礎知識があること	×	○	若干
	24	エネルギー変換工学	河崎 澄	水	1	高校物理程度の知識を前提とする。	○	○	若干
	25	半導体基礎	柳澤 淳一	水	1	できれば量子力学の基礎知識があることが望ましいのですが、必須ではありません。	×	○	5
	26	環境調和化学	谷本 智史	水	2	特になし	×	○	5
	27	電子と化学結合	松岡 純	水	2	高校物理と工学部1年次前期の化学と数学を履修したのと同程度の学力を前提に授業を行う。	×	○	若干
	28	流体力学Ⅰ	南川 久人	水	2	高校数学レベルの、微分・積分を理解していることが望ましい。	○	○	若干
	29	伝熱学	出島 一仁	水	2	特になし	○	○	3
人間文化学部	30	電磁波工学	土谷 亮	木	1	電磁気学の基礎的な知識があることが望ましい。	×	×	制限なし
	31	分子・統計力学	松岡 純	木	2	材料化学科1年次の数学と2年次の熱力学に関する科目を履修したのと同程度の学力を前提に授業を行う。	×	○	若干
	32	大学院科目・天然高分子材料	谷本 智史	木	2	高校の化学を履修していること	×	○	3
	33	世界遺産学特論	金 宇大	月	2	特になし	×	×	15
	34	移民社会論C	河 かおる	火	5	特になし	×	○	若干
	35	民俗学	市川 秀之	水	3	特になし	×	×	10
	36	臨床心理学	松嶋 秀明	水	4	授業のなかでは、学生同士のディスカッションを重視しています。学生のなかにもディスカッションが苦手なものがいるので無理強いはしていませんが、できれば学生に混じって意見交換や発表をしていただくと、学生にない発想がいかされてありがたいと思います。	×	○	若干
	37	日本社会論	櫻井 悟史	水	5	毎回、次回扱うトピックや、その回の授業で学んだトピックについての意見を記述して、Formsで提出してもらう。そのため、スマートフォンかパソコンを扱えることが望ましい。	×	×	制限なし
	38	中国地域文化論	横田 祥子	木	3	特になし	×	×	5
	39	芸術学	亀井 若菜	木	4	特になし	×	○	若干
	40	アジア文化論B	河 かおる	木	4	特になし	×	○	若干
	41	東洋史概論	李 咳鎮	木	4	期末試験があり、レポート課題は出さない計画です。試験の受験はご自由にお任せします。	○	×	10
	42	地域と空間	市川 秀之	金	2	特になし	×	×	5
	43	欧米文化論D	瀬戸 貴裕	金	3	特になし	×	○	10
	44	比較道具論	星野 祥子	金	4	毎授業の4日後を提出期限としたレポートの提出があります。	×	○	5
看護	45	小児看護学	古株 ひろみ	金	2	講義内容により、参加頂けない場合があります。	×	○	2

【講時】 1限 9:00～10:30 2限 10:40～12:10 3限 13:10～14:40 4限 14:50～16:20 5限 16:30～18:00

【シラバスの見方】 [県立大学ホームページ](#) → [学部・大学院](#) → [シラバス](#) → [USP o](#)
大学ホームページのシラバスを参考にしてください